

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/09/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.54	0.07
JPY/THB	0.2407	0.0006
USD/JPY	147.66	-0.06
EUR/THB	38.12	0.09
EUR/USD	1.0727	0.0005
USD/CNH	7.321	0.015
SGD/THB	26.05	0.00
AUD/THB	22.68	0.06
USD/INR	83.14	0.10
USD Index	104.86	0.05

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.623	0.042
10Y (THB)	2.878	0.042
5Y (USD)	4.417	0.041
10Y (USD)	4.280	0.020

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,925.8	-8.5
WTI (Oil)	87.54	0.85
Copper	8,371.5	-115.5

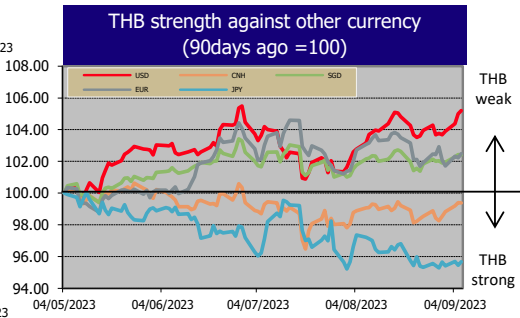
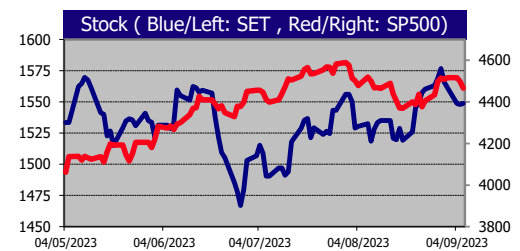
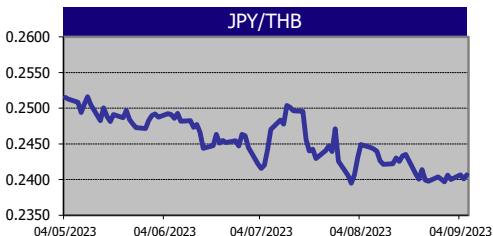
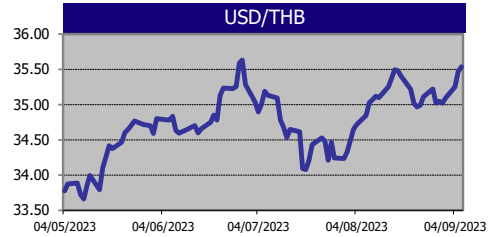
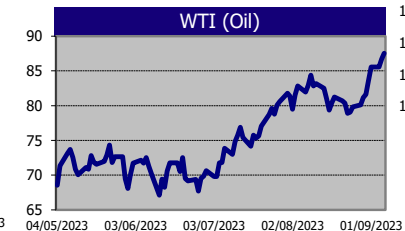
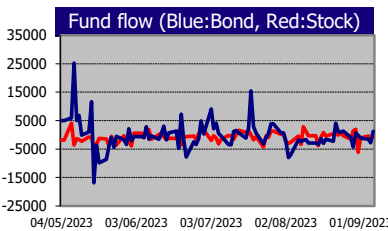
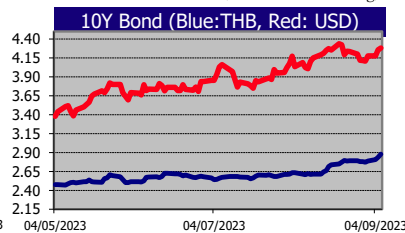
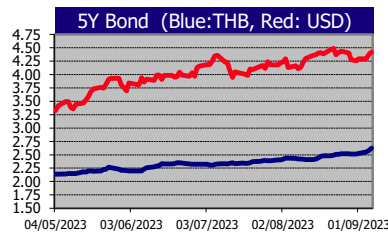
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,548.78	0.92
NIKKEI (JP)	33,241.02	204.26
DOW (US)	34,443.19	-198.78
S&P500 (US)	4,465.48	-31.35
SHCOMP (CN)	3,158.08	3.71
DAX(GER)	15,741.37	-30.34

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(740)	787.8
Bond net flow	1,238	4063.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは横ばいでの推移。35パーツ台半ば付近で取引を開始すると、バンコク時間を通して35.50を挟んで小幅に上下する値動きが継続。海外時間に入り、米8月ISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことが確認された場面ではドル買いが強まるも、ドルパーツは8月半ばに付けた直近高値が意識される中、上昇は限定的に。結局オープンとほぼ同水準となる35.54レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は高値圏での推移が継続。オープン前、ドル円が昨年11月以来の高水準での推移となる中、本邦当局者から「投機的な行動、ファンダメンタルズでは説明できない動き」、「こういった動き続いたら、あらゆる選択肢を排除せずに対応」といった牽制発言が確認され、147円台後半付近で推移していたドル円は147円台半ばまで下落してオープン。東京仲値にかけてはドル買い強まる場面が見られ、ドル円は上昇に転じたが、上昇一服後は147円ちょうど付近まで下落。その後直ぐに147円台前半まで戻し海外時間に渡ると、米国経済指標の強い結果を受けて幅広い通貨に対しドル買い優勢の展開となり、ドル円は147円台半ばまで上昇。そのまま同水準での推移が続き、147.66レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週に入りドル円は年初来の高値を更新した。背景としては、米国の長期金利上昇や中国経済への懸念を受けたドル買い圧力の高まりがあり、円だけでなく人民元をはじめ各通貨が対ドルで売られる展開となっている。その中でも円は、金利差や貿易収支等需給両面から売られやすい通貨であり、足許原油価格の上昇も相まって、下落基調がなかなか止まらない。ドル円高値更新を受け、本邦政府からはけん制発言が出始めており、市場がさらに上値を試すようなことがあれば、口先介入のトーンが強くなる可能性を警戒しておきたい。今月は14日に欧ECB政策理事会、20日に米FOMC、22日に日銀金融政策決定会合の日程で政策金利が公表される。今のところ欧米ともに利上げ見送りの観測が支配的のように見えるが、まだ会合まで時間があるなか、情勢が変わることも十分にあり得る。ドル円もドル人民元もすでに年初来高水準にあり、ともに介入警戒感が高まりやすいレベルで推移していることを念頭に入れつつ、ここからの動きを注意深く見ておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.